

正誤表

本書中に訂正箇所等がございました。お手数をおかけしますが、下記ご参照いただけますようお願い申し上げます。(2022年7月8日)

■第1版第1刷(2019年7月27日発行)の修正箇所

ページ	場所	修正前	修正後	補足	掲載
第1章					
29	10行目	測定値の7.5 Wが	測定値の7.5 kWが		20/4/13
32	問題2-6 4行目	無負荷損の値[W]として,	無負荷損の値[kW]として,		20/11/17
	問題2-7 4行目	リアクタンスの和Xの値	リアクタンスの一次換算値の和Xの値	赤字を追加	21/6/8
33	解答2-4 7行目	= 0.010 1S _n	= 0.010 1S _n …(a)	式番を追加	20/4/13
48	解答3-1 4行目	= 86.8 kV・A	= 86.6 kV・A		20/6/2
	解答3-1 6行目	ΔS = 100 - 86.8 = 13.4 kV・A	ΔS = 100 - 86.6 = 13.4 kV・A		20/6/2
第2章					
54	10行目の後	記述を追加	④ ブラシ 回転している整流子片に接触し、外部に電気を取り出す役割をするのがブラシで、一般に黒鉛ブラシが使用されている。	55ページから記述を移動	20/5/11
55	1~3行目	④ ブラシ 回転している整流子片に接触し、外部に電気を取り出す役割をするのがブラシで、一般に黒鉛ブラシが使用されている。	記述を削除	54ページへ記述を移動	20/5/11
68	解答1-4 (b)図中	E' = 187.5 Ω	E' = 187.5 V		20/4/6
71	第3図中	R _a [A]	R _a [Ω]		20/6/24
第3章					
100	枠内 Φ _m (2箇所)	Φ _m : 最大磁束密度 [Wb]	Φ _m : 磁束の最大値 [Wb]		21/6/10
125	例題3行目	出力の値[Ω]	出力の値[kW]		21/6/14
第4章					
153	1行目 ⑨式	$T = \frac{1}{\omega_s} \cdot \frac{\frac{r_2'}{s} \cdot V_1^2}{\left(r_1 + \frac{r_2'}{s}\right)^2 + (x_1 + x_1')^2}$	$T = \frac{1}{\omega_s} \cdot \frac{\frac{r_2'}{s} \cdot V_1^2}{\left(r_1 + \frac{r_2'}{s}\right)^2 + (x_1 + x_2')^2}$		22/4/21
162	問題2-4 1~2行目	6極の出力200 kW, 定格電圧3 000 V, 周波数8極の	出力200 kW, 定格電圧3 000 V, 6極の	最初の赤字は削除	20/4/23
第5章					
184	5行目(第1図の下)	, アノードKが	, カソードKが		20/7/6
198	第4図中	S (オン)	S (オフ)		21/3/2
199	第7図中	S (オン)	S (オフ)		21/3/2
第8章					
264	4行目	= 4 × 10 ⁴ cd/m ²	= 4 × 10 ⁴ lm/m ²		20/7/8
272	問題1-4 1行目	と光束発散度[lm/m ²]	と光束発散度 M [lm/m ²]	赤字を追加	20/7/8
第10章					
325	2行目	第9図(b)にする。第9図(b)を	第12図(b)にする。第12図(b)を		19/9/17
第11章					
352	解き方 図中	Y = $\overline{(A+B)} \cdot (A+B)$	Y = $\overline{(A+B)} \cdot (A \cdot B)$		22/7/8